

汚れの判定について

《品質調査でOK(汚れていない)と判断するポイント》

- ①中身が使い切られていること
- ②サツと洗った形跡があること
- ③全体的にベツタリと汚れが付着していないこと

皆さんが きたない！触りたくない！！
と思うものは、やっぱり汚れと判定されます。

※中身が見えないチューブやボトルの場合は・・・

→逆さにして中身が出てこないこと

→容器の口部にベツタリと汚れが付着していないこと

汚れの事例(チューブ類)



中身残り



口元汚れ



きれいな容器

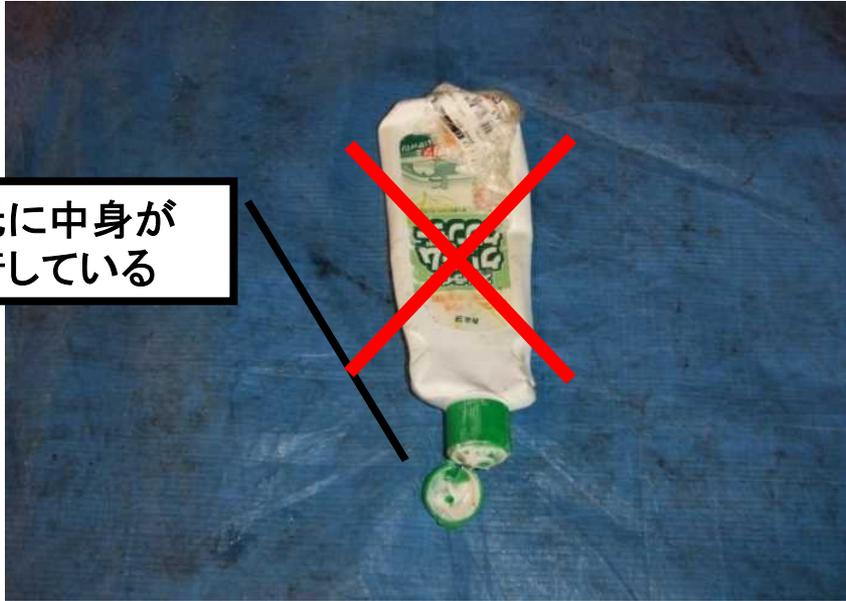


汚れの事例(固形物他)



中身が拭き取られていないため、
容器内に 化粧クリームがべったりと
付着している

汚れの事例(ボトル類)



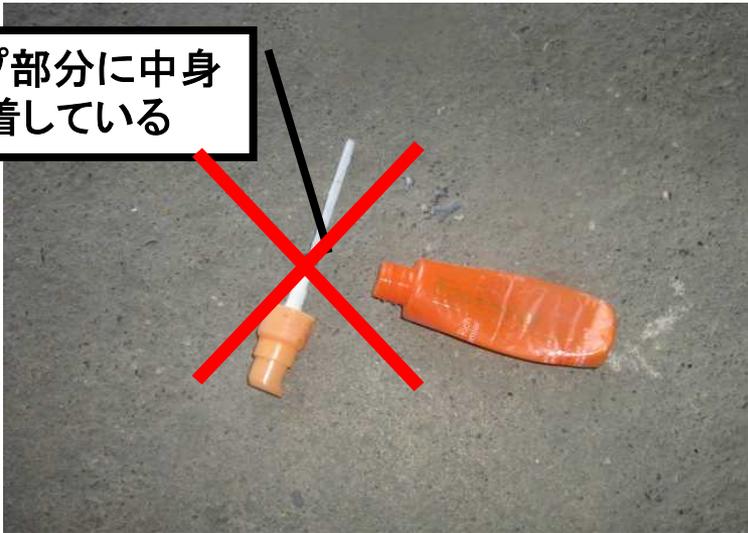
口元に中身が
付着している

容器の外側にも汚れが
付着している



ポンプ部分に中身が
付着している

食器用洗剤の液が残
っている



汚れの事例(袋類)



容器の外側が他の付着物で
一部汚れている。
【もらい汚れ】

汚れの事例(トレイ類)



カビが全面に付着している



中身残り(洗浄なし)

汚れの事例（油汚れなど）

全面汚れ



全体的に汚れが付着している容器



食品が付着しており、全体にべとつきがある弁当容器

